#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 2 年 6 月 4 日現在

機関番号: 33920

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2014~2019

課題番号: 26502016

研究課題名(和文)聴覚コミュニケーション障害からみた高齢者・障害者・認知症ケアの在り方に関する検討

研究課題名(英文)Study of the ideal way of care for the elderly, disabled and dementia from the viewpoint of hearing communication impairment

#### 研究代表者

内田 育恵 (Uchida, Yasue)

愛知医科大学・医学部・准教授

研究者番号:80313998

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3.800.000円

研究成果の概要(和文):研究Aでは、聴覚による身体障害者手帳所持者の追跡調査を行った。補聴器交付券利用者は、有効回答者の83%で、補聴器使用状況、有効性、生活の質に関する評価は全般的に高かったが、補聴器があっても活動制限は依然としてあるという結果も得た。研究Bはもの忘れ外来受診高齢難聴者への補聴器6ヶ月間貸出研究で、補聴器使用と認知機能の関連を検討した。認知機能の汎用検査であるMini-Mental State Examination (MMSE)で27点以下の認知機能低下者では、補聴器導入6ヶ月間前人で言意な差はなく認知機能維持が示された。ことばの弁別能不良例も補聴器の継続で認知機能

維持ができたことが示された。

研究成果の学術的意義や社会的意義本課題内の特に研究Bで得たデータは、認知障害のある難聴者を対象として補聴器の効果を評価した国際的先行研究に匹敵する対象規模である。MMSEの小項目である見当識、記憶、注意と計算、言語について、聴力と関係するのはどの領域か、また補聴器の有効性が出やすい領域があるのかについて、詳細を解析して論文化作業中で、国際誌に報告を予定している。認知障害のある難聴者の精密な評価や追跡は容易ではないため、本研究で得られた結果は学術的にも、また難聴と使用言語による関連も考慮すると日本における研究成果という点で、社会的におきまたままで表えまました。 も意義のある実証になった。

研究成果の概要(英文): In Study A, we conducted a follow-up survey of persons with a disability certificate by hearing. Eighty three percent of respondents received a publicly delivered hearing aid, and the evaluation scores on the hearing aid usage, effectiveness and quality of life of the users were generally high, but even with hearing aids, activity restrictions still remained. Study B was a hearing aid 6 months trial study for hearing-impaired older outpatients visiting the memory clinic, which examined the influence of hearing aid use on cognitive function. Those with a cognitive decline of 27 points or less in the Mini-Mental State Examination (MMSE), which is a global cognition test, showed cognitive function maintenance without significant difference about 6 months after the introduction of the hearing aid. It was also shown that cognitive function could be months after the introduction of the hearing aid. It was also shown that cognitive function could be maintained by continuing hearing aids usage even in cases of poor speech discrimination.

研究分野: 耳科学、聴覚学

キーワード: 認知機能 難聴 高齢 補聴器 MMSE

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

### 1.研究開始当初の背景

聴覚障害は、加齢とともに有病率が高くなる代表的な老年病で、2012 年報告の我々の調査では全国高齢難聴者数は約1,500万人と推計された(内田ら 月老医誌 2012:222-227)。 聴覚はコミュニケーション機能の一翼を担っており、障害をきたすと本人だけでなくコミュニケーション対象者にも影響が及ぶ点が他の感覚機能と決定的に違う。我が国では高齢者のいる世帯は全体の4割に上り、支え、支えられる共助ケア関係増加が見込まれる。

聴力障害がもたらすコミュニケーション障害への対策のひとつに補聴器があるが、欧米各国に比較して日本では中等度以上の難聴者の補聴器所有率が極端に少ない。欧米との統一内容による国内 15,000 人規模の抽出調査によると、難聴者比率は欧米諸国と近似していたものの、その難聴者における補聴器所有率は、ドイツで 34.0%、英国で 41.1%、米国で 24.6% であったのに比べ日本では、難聴申告者の 14.1% しか補聴器を所有していなかった (JapanTrak 2012 (社)日本補聴器工業会)。

聴力障害は、個人や社会に様々な不利益をもたらす。調査開始時に抑うつ症状のない高齢者の追跡調査では聴覚的ハンディキャップがあるとない群に比べて 2.45 倍うつ症状リスクが高い (Saito ら, J Am Geriatr Soc, 2010)、1日1時間以上補聴器を使用する者は、有意に抑うつ症状が低い (Gopinath B ら, J Am Geriatr Soc, 2009)、65 歳以上の男性では、難聴者は非難聴者に比べて、3年後に要介護または死亡となるリスクが 3.10 倍になる (Michikawaら, BMC Geriatr, 2009) など、聴力障害と各種不利益との関連のエビデンスが相次いで報告された。

### 2.研究の目的

聴覚コミュニケーション障害からみたケアの在り方を考える上で、補聴器活用の実態や認知面からみた有用性や実用性を明らかにする必要がある。その目的で本研究課題においては、研究計画2本立てを遂行した。各計画の目的は次の通りである。

研究計画 A 聴覚障害者の補聴器公的交付後に関する報告はほとんどなく、標準的な介入方法は確立されていない。高齢化率の高い我が国においても、交付後のケアに関する指針がなく、補聴器装用者が補聴器を継続的に使用できているのか、補聴の効果はどうなのか不明である。成人の聴覚障害による身体障害者手帳所持者を対象に、福祉制度の補聴器交付事業で得た補聴器について、補聴効果の評価、補聴器の装用状況の実態を調査することを目的とした。

研究計画 B もの忘れセンター外来受診者で補聴器使用経験が無い者に補聴器を貸し出し、6ヶ月の追跡を行い、超高齢者や認知機能低下者が補聴器を正しく継続使用することは可能なのか? 補聴器の適正使用により、さらなる認知機能低下を防ぐことは可能なのか?難聴者の補聴器装用の効果をコミュニケーション対象者はいかに評価するか?などのリサーチクエスチョンを明らかにすることを目的とした。

## 3.研究の方法

研究計画 A 愛知医科大学病院で補聴器交付手続きを受けた身体障害者手帳所持者を追跡して研究参加同意が得られた者に、補聴器の使用状況や満足度を調査した。評価尺度として、世界中で24言語に翻訳され結果の蓄積も多いInternational Outcome Inventory for Hearing Aids (IOI-HA) を用いた。試聴期間を含め補聴器開始から3ヶ月以上経過後に、郵送法または外来法のいずれかで回答を得た。

研究計画 B 国立長寿医療研究センターもの忘れセンター外来受診者で補聴器使用経験が無い難聴者に研究参加の同意を得たのち、耳鼻咽喉科において鼓膜チェック、純音聴力検査、語音聴力検査を行って補聴器を貸し出し、6ヶ月間追跡し、その前後で次に示す各種評価を行った。

もの忘れセンター初診時に高齢者総合機能評価 (CGA: Comprehensive Geriatric Assessment) として行われている次の評価項目を用いた。

認知機能検査 Mini—Mental State Examination (MMSE)

基本的日常生活動作指標 Barthel Index

うつ傾向尺度 Geriatric Depression Scale 15

認知症周辺症状評価 Dementia Behavior Disturbance Scale (DBD)

家族の介護負担感評価 Zarit Burden Interview 日本語版

また聞こえと補聴器に関しては次の評価尺度を用いた。

Hearing Handicap Inventory for the Elderly (HHIE) 日本語版
Nursing Home Hearing Handicap Index, Staff version 日本語版 案
International Outcome Inventory for Hearing Aids (IOI-HA) 日本語版 案
日本聴覚医学会『きこえの評価―補聴前・補聴後―』

## 4. 研究成果

研究計画 A 聴覚障害による身体障害者手帳を所持し、愛知医大において 2011 年 10 月から 2018 年 3 月に補聴器交付を受け研究参加同意が得られた者に、郵送法と外来法で調査を行い、重複例等を除いた 33 名を対象に解析した。IOI-HA では、補聴器への評価を 1 問最大 5 点で 7 問に回答してもらい 35 点満点で高得点ほど高評価を表す。Chang らは対象の 90%以上が 70dB以下の聴力レベルである 208 名に対し、補聴器フィッティング 3 ヶ月後の IOI-HA を評価し(Acta Oto-Laryngologica, 2016)、総得点平均約 24 点であったと報告している。本対象は聴力障害がもう少し高度であるが、総得点平均約 26.1 点であり、補聴器交付事業による補聴器が、手帳所持者に一定の評価を得ていることがわかった。細項目では、補聴器の使用状況、有効性、満足度、生活の質に関する評価は全般的に高かったが、補聴器があっても活動や参加制限があるかに関する設問では、満足度は不十分であった。これらの結果は「当科における聴覚による身体障害者手帳所持者の追跡調査」という演題名で、第 173 回東海地方部会連合会(2018 年 6 月 10 日)にて報告した。

研究計画 B 国立長寿医療研究センターにおける、2014年9月から2019年1月までの4年4ヶ月間の研究エントリー症例は60名で、補聴器導入後の追跡中に除外となったのは、死

亡 (n=2) 施設入所 (n=1) 補聴器継続ができず脱落 (n=9) 弁別能測定不能 (n=1)で、補聴器導入6ヶ月前後の比較解析が可能であったのは47例であった。MMSE総得点は、 補聴器導入6ヶ月間の前20.6±5.7、後21.0±5.0で有意な差はみられず、認知機能は維持され ていた。補聴器導入前 MMSE と比べて導入後 MMSE が悪化した者を認知機能悪化群、 MMSE が不変または改善した者を認知機能維持群として分けると、補聴器導入前の語音弁 別能が 25%や 35%と補聴器装用の効果を期待することが困難なケースも、補聴器を 6ヶ月 間続けて、認知機能維持群に該当していた。 追跡前 MMSE が 9 から 13 点と低値で認知機能 低下が中等度以上のケースであっても、語音聴力検査を測定することができ良好な弁別能 を示し、さらに6ヶ月の補聴器使用継続も経て、認知機能維持群に含まれた例があることは 特記すべき点である。認知機能や語音弁別能の不良例も、補聴器継続と認知機能維持という 結果を得ることが可能であると実証できた。これらの解析結果については、第63回日本聴 覚医学会 ( 2018 年 10 月 18 日神戸 ) にてシンポジストとして講演を、また [ サブ解析 ] の 一部について第28回日本耳科学会(2018年10月6日大阪)にて口演を、「もの忘れセンタ ー受診高齢難聴者への補聴器6ヶ月貸出研究―認知機能の推移と語音弁別能に注目した解 析—」として論文報告を(Audiology Japan 62, 142~149, 2019) 演題名「もの忘れセンター 受診高齢難聴者の聴覚ハンディキャップ」および「もの忘れセンター受診高齢難聴者の MMSE 下位項目と聴力の関係」として第64回日本聴覚医学会(2019年11月8日大阪)に おいて口演で報告を行った。

## 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計43件(うち査読付論文 22件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 20件)

オープンアクセスとしている(また、その予定である)

「粧心神久」 143件(フラ直航刊神久 22件/フラ国际共有 0件/フラオーフングラセス 20件)	
1.著者名 内田 育恵	4.巻 58
2.論文標題 【高齢者に対する包括的感覚器ケアと疾患治療】高齢者の難聴と認知症・フレイルの関連	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Geriatric Medicine	6 . 最初と最後の頁 133~136
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセスにはない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名 内田 育恵	4.巻 36
2 . 論文標題 【難聴を治す-2020年版】難聴と認知症	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 JOHNS	6.最初と最後の頁 77~80
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1.著者名	4 . 巻
内田 育恵	123
2 . 論文標題 耳鼻咽喉科としての認知症への対応 聴覚障害	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報	6.最初と最後の頁 333~338
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4.巻
内田 育恵,杉浦 彩子,中田 隆文,伊藤 恵里奈,吉原 杏奈,清水 笑子,近藤 和泉,中島 務,植田 広 海	62
2.論文標題 もの忘れセンター受診高齢難聴者への補聴器6ヵ月貸出研究 認知機能の推移と語音弁別能に注目した解析	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Audiology Japan	6 . 最初と最後の頁 142~149
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有

1.著者名	4 . 巻
中島 務,内田 育恵,杉浦 彩子,寺西 正明,片山 直美,曾根 三千彦	62
2 . 論文標題	5.発行年
一人暮らし高齢者の難聴自覚と補聴器使用状況	2019年
一人春らし向阪有の無喘日見と情喘品使用仏状	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Audiology Japan	134 ~ 141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>
なし	有
74. U	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
内田 育恵	122
2.論文標題	5 . 発行年
2.間及信息 超高齢社会における高齢者医療への対応 中年期以降の'Hear well'の重要性	2019年
で同盟(TAICOI) O目数(日内京、VVIVIO II-T数)文件OI IICOI WCII OI E女正	2010—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本耳鼻咽喉科学会会報	744 ~ 749
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
12世紀前文の201(アンタルオングエグド戦の1)	無無
<i>4 0</i>	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
内田 育恵	45
2 . 論文標題	5.発行年
Digestシリーズ 新薬開発まで待てない認知症(Vol.6) 聴覚障害補正と認知症予防	2019年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
Medical Science Digest	0.取りと取扱の貝 299~300
medical scrence prigest	299 - 300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	<b>無</b>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
• *** <i>a</i>	1 4 344
1 . 著者名	4.巻
内田 育恵	35
2.論文標題	5.発行年
<ul><li>【リハビリテーションを理解する-方法と効果の評価】加齢性難聴に対するリハビリテーション</li></ul>	2019年
Lッハモッノーションで注解する・川広C刈未の計画 J 川南注無職にX398リハモリナーンヨノ	2019+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
JOHNS	925 ~ 927
	325 32.
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の左征
·	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
<b>ューランティ ころ Clady 1、人はカーランチプ ビヘル 四井</b>	

1. 書名名 内田 育恵 233 2. 論文模語 【音楽時報刊と説知症】難様と脳差婚 35・飛行年 2019年 2019年 6・元初と職後の頁 1-5 5・飛行年 2019年 7・2019年 7・2		
内田 育恵       23         2. 論文標題 (14 時期報名と記分症】 類様と脳奏相       5、発行年 2019年         3. 確認を (21 所収的)       6、最初と最後の頁 1~5         3. 確認を (22 所収)       2 画談内有無 2019年         4. 巻 30       1、著名を (3 競技機能の低下と認知症 (3 競技機能の低下と認知症 (3 競技機能の低下と認知症 (3 競技機能の低下と認知症 (4 ) 整 3 の	1.著者名	4 . 巻
2. 前次標題 【耳扇側線科と認知症】 対限と脳妄雑 3. 利証名 FNTONI 5. 製訂を異像の頁 1-5  展載前文の2001(デジタルオブジェクト機別子) なし 1. 著名名 内田 育恵 2. 前次標題 【弦域標節(氏下と認知症】 第数論文の201(デジタルオブジェクト機別子) なし 3. 雑誌名 2. 前次標題 (3. 機能名 3. を作用神医学神話 4. 受 3. を作用神医学神話 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 7. オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 7. オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 受 3. 雑誌名 7. 第二本を作用神医学神話 5. 発行年 2019年 3. 報話名 1. 著名名 内田 育恵 杉油 彩子 2. 前次構題 増刊号 老者・家族への説明ガイド・正しく伝え、前得を引き出し、判断を促すために 耳と聞こえのこと 1018年 増刊号 老者・家族への説明ガイド・正しく伝え、前得を引き出し、判断を促すために 耳と聞こえのこと 1018年 増刊号 老者・家族への説明ガイド・正しく伝え、前得を引き出し、判断を促すために 耳と聞こえのこと 1018年 101. 記引起子・随音と言われたのですが、細胞器は収えるでしょうか? 3. 報話名 1. 著名名 大力・アクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafuni、Sone Michihiko 4. 受 6. 最初と最後の頁 1. 名名名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafuni、Sone Michihiko 4. 受 6. 最初と最後の頁 154 - 159 101. 4285/suudiology、61. 154		
3 . 雑誌名 (		
3 . 雑誌名 (	a AA-LITE	- 7V./
3 : 制設名 ENTONI  3 : 制設名 ENTONI  6 : 最初と最後の頁 1~5  日報論文の001 (デジタルオブジェクト護別子) なし  7 - ブンアクセス  4 - ブンアクセス  1 : 著書名 内田 育恵 2 : 論文程態 【感覚機能の低下と認知症】聴覚の低下と認知症 3 : 検診名 老年精神医学雑誌 5 : 無行在 2019年  2 : 論文理態 無  7 - ブンアクセス  2 : 最近の有無 無  7 - ブンアクセス  2 : 最近の有無 無  7 - ブンアクセス  1 : 著書名 内田 育恵	·····	
ENTON	【耳鼻咽喉科と認知症】難聴と脳萎縮	2019年
ENTON		
ENTON	3、 雑誌名	6 最初と最後の百
据数論文のDOI(デジタルオブジェクト語別子) なし		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難	ENTONI	1~5
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	40	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
1 . 著名名 内田 育恵	オープンアクセス	国際共著
1 . 著名名 内田 育恵	オープンアクセスではない Vはオープンアクセスが困難	_
内田 育惠       30         2 . 論文課題 【感覚機能の低下と認知症】聴覚の低下と認知症       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 老年精神医学雑誌       6 . 最初と最後の頁 156 - 161         清歌論文の2001 (デジタルオプジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 内田 育恵 杉浦 彩子       4 . 巻 90         2 . 論文課題 増刊号 患者・家族への説明ガイド・正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために . 耳と聞こえのこと 019. 認知症予備軍と書われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科 . 頭野部外科       6 . 最初と最後の頁 30~40         3 競議会 耳鼻咽喉科 . 頭野部外科       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 Sugiura Saiko, Teranishi Masaaki, Uchida Yasue, Nakada Takafuni, Sone Michihiko       4 . 巻 61         2 . 論文課題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-deal ting middle-aged to elderly Japanese       5 . 発行年 2018年         3 . 秘話名 AUDIOLOGY JAPAN       6 . 最初と最後の頁 154 - 159         掲載論を ADIOLOGY JAPAN       6 . 最初と最後の頁 154 - 159         掲載論を ADIOLOGY JAPAN       1 . 4295/3 audiology, 61. 154         オープンアクセス       国際共著	コランプラとれてはない、人はコランプラとハガ田衆	
内田 育惠       30         2 . 論文課題 【感覚機能の低下と認知症】聴覚の低下と認知症       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 老年精神医学雑誌       6 . 最初と最後の頁 156 - 161         清歌論文の2001 (デジタルオプジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 内田 育恵 杉浦 彩子       4 . 巻 90         2 . 論文課題 増刊号 患者・家族への説明ガイド・正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために . 耳と聞こえのこと 019. 認知症予備軍と書われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科 . 頭野部外科       6 . 最初と最後の頁 30~40         3 競議会 耳鼻咽喉科 . 頭野部外科       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 Sugiura Saiko, Teranishi Masaaki, Uchida Yasue, Nakada Takafuni, Sone Michihiko       4 . 巻 61         2 . 論文課題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-deal ting middle-aged to elderly Japanese       5 . 発行年 2018年         3 . 秘話名 AUDIOLOGY JAPAN       6 . 最初と最後の頁 154 - 159         掲載論を ADIOLOGY JAPAN       6 . 最初と最後の頁 154 - 159         掲載論を ADIOLOGY JAPAN       1 . 4295/3 audiology, 61. 154         オープンアクセス       国際共著		
2 論文標題 【感覚機能の低下と認知症】聴覚の低下と認知症	1.著者名	4.巻
	内田 育恵	30
	2、 4公分 塘 田	F 254=/=
3 . 雑誌名		
おいけい   156~161   156~1	【感覚機能の低下と認知症】聴覚の低下と認知症	2019年
おいけい   156~161   156~1		
おいけい   156~161   156~1	2	6 是知と是後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 内田 育恵、杉浦 彩子 2 . 論文標題 3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頭部外科 38 - 40  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .11477/mf .1411201583  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  第		
### オープンアクセス	老牛精伸医字維瑟	156 ~ 161
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
### オープンアクセス	押制会立のDOI / デジカリナブジェカト強則スト	本性の方無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 内田 育恵、杉浦 彩子 90 90 5 . 発行年 増刊号 患者・家族への説明ガイト-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために . 耳と聞こえのこと 2018年 2018年 2018年 3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 6 . 最初と最後の頁 38~40 5 . 最初と最後の頁 38~40 5 . 第一プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko 6 . 最初と最後の頁 38 . 雑誌名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN 6 . 最初と最後の頁 154~159 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 154~159 5 . 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN 5 . 単純 2018年 6 . 最初と最後の頁 154~159 5 . 種類 2 . 単純 2 . 種類 2 . 単純		
### オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 90	なし	無
### オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 90		
### オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 90	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 内田 育恵、杉浦 彩子       4 . 巻 90         2 .論文標題 増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと (19. 認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?)       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科       6 . 最初と最後の頁 38~40         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583       重際共著         オープンアクセス メープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻 61         1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko       4 . 巻 61         2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese       5 . 発行年 2018年         3 . 雜誌名 AUDIOLOGY JAPAN       6 . 最初と最後の頁 154~159         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
内田 育恵、杉浦 彩子       90         2. 論文標題 増刊号、患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと (19. 認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?       5. 発行年 2018年         3. 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科       6. 最初と最後の頁 38~40         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583       重添の有無 無         オープンアクセス といますると Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko       4. 巻 61         2. 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese       5. 発行年 2018年         3. 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN       6. 最初と最後の頁 154~159         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154       重読の有無 7. 本プンアクセス	オーノンアグセス こはない、 又はオーノンアグセスが 困難	-
内田 育恵、杉浦 彩子       90         2. 論文標題 増刊号、患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと (19. 認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?       5. 発行年 2018年         3. 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科       6. 最初と最後の頁 38~40         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583       重添の有無 無         オープンアクセス といますると Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko       4. 巻 61         2. 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese       5. 発行年 2018年         3. 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN       6. 最初と最後の頁 154~159         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154       重読の有無 7. 本プンアクセス		
内田 育恵、杉浦 彩子       90         2. 論文標題 増刊号、患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと (19. 認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?       5. 発行年 2018年         3. 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科       6. 最初と最後の頁 38~40         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583       重添の有無 無         オープンアクセス といますると Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko       4. 巻 61         2. 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese       5. 発行年 2018年         3. 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN       6. 最初と最後の頁 154~159         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154       重読の有無 7. 本プンアクセス	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 増刊号、患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?       .耳と聞こえのこと 2018年         3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頭部外科       6 . 最初と最後の頁 38 ~ 40         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf .1411201583       査読の有無	内田 育車 杉浦 彩子	
増刊号 患者・家族への説明ガイド・正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?       6.最初と最後の頁 38~40         3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科		
増刊号 患者・家族への説明ガイド・正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?       6.最初と最後の頁 38~40         3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A AA J. I. T. I. T	= 7v./= h=
(19. 認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?  3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科		
3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	·····	
3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	·····	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583 無  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko 61  2.論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese 3.雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN 5. 最初と最後の頁 154~159  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのことQ19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?	2018年
### 10.11477/mf.1411201583 無	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
### 10.11477/mf.1411201583 無	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
### 10.11477/mf.1411201583 無	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
### 10.11477/mf.1411201583 無	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko - 2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese - 3 . 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN - 5 . 発行年 2018年 - 6 . 最初と最後の頁 154~159 - 7 . 4295/audiology .61.154 - 7 . 5 . 第行年 2018年 - 2018年 - 3 . 雑誌名 - 3 . 雑誌名 - 4 . 巻 - 61 - 61 - 61 - 61 - 61 - 61 - 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2018年 6.最初と最後の頁 38~40
*** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 *** - ***	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 38~40 査読の有無
*** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 *** - ***	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 38~40 査読の有無
*** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 *** - ***	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 38~40 査読の有無
1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3 . 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154  有  国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか? 3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583	2018年 6.最初と最後の頁 38~40 査読の有無 無
Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko 61  2 . 論文標題   Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-   dwelling middle-aged to elderly Japanese 5 . 発行年   2018年  3 . 雑誌名   AUDIOLOGY JAPAN 6 . 最初と最後の頁   154~159  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.4295/audiology.61.154 有	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために 19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 38~40 査読の有無 無
Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko 61  2 . 論文標題   Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-   dwelling middle-aged to elderly Japanese 5 . 発行年   2018年  3 . 雑誌名   AUDIOLOGY JAPAN 6 . 最初と最後の頁   154~159  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.4295/audiology.61.154 有	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために 19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 38~40 査読の有無 無
Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko 61  2 . 論文標題   Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-   dwelling middle-aged to elderly Japanese 5 . 発行年   2018年  3 . 雑誌名   AUDIOLOGY JAPAN 6 . 最初と最後の頁   154~159  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.4295/audiology.61.154 有	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために 19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community- dwelling middle-aged to elderly Japanese  3.雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154  国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために 19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著
Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community- dwelling middle-aged to elderly Japanese  3.雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154  有  オープンアクセス  国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 -
Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community- dwelling middle-aged to elderly Japanese  3.雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154  有  オープンアクセス  国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 -
Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community- dwelling middle-aged to elderly Japanese  3.雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154  有  オープンアクセス  国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61
dwelling middle-aged to elderly Japanese3.雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN6.最初と最後の頁 154~159掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154査読の有無 有オープンアクセス国際共著	増刊号 恵者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         AUDIOLOGY JAPAN       154~159         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.4295/audiology.61.154       有         オープンアクセス       国際共著	増刊号 恵者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2.論文標題	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年
AUDIOLOGY JAPAN       154~159         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.4295/audiology.61.154       有         オープンアクセス       国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2.論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.4295/audiology.61.154 有 オープンアクセス 国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2.論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年
10.4295/audiology.61.154       有         オープンアクセス       国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3 . 雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
10.4295/audiology.61.154       有         オープンアクセス       国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3 . 雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
10.4295/audiology.61.154       有         オープンアクセス       国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2.論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
10.4295/audiology.61.154       有         オープンアクセス       国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え,納得を引き出し,判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが,補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2.論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?  3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3 . 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 154~159
オープンアクセス 国際共著	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?  3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3 . 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 154~159
	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2.論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3.雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 154~159
	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと Q19.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?  3.雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2.論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3.雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 154~159
オーブンアクセスとしている(また、その予定である)	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?  3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3 . 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 154~159  査読の有無 有
	増刊号 患者・家族への説明ガイド-正しく伝え、納得を引き出し、判断を促すために .耳と聞こえのこと 019.認知症予備軍と言われた母ですが、補聴器は使えるでしょうか?  3 . 雑誌名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1411201583  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sugiura Saiko、Teranishi Masaaki、Uchida Yasue、Nakada Takafumi、Sone Michihiko  2 . 論文標題 Association between serum zinc levels and tinnitus, hearing loss, depression in community-dwelling middle-aged to elderly Japanese  3 . 雑誌名 AUDIOLOGY JAPAN  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4295/audiology.61.154  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 38~40  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 61  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 154~159  査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Sugiura Saiko, Yasue Minori, Uchida Yasue, Teranishi Masaaki, Sone Michihiko, Suzuki Hirokazu,	2018
Nakashima Tsutomu, Otsuka Rei, Ando Fujiko, Shimokata Hiroshi	
	r 整仁左
2.論文標題	5 . 発行年
Prevalence and Risk Factors of MRI Abnormality Which Was Suspected as Sinusitis in Japanese	2018年
Middle-Aged and Elderly Community Dwellers	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
BioMed Research International	1 ~ 6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1155/2018/4096845	有
	13
オープンアクセス	国際共著
=	国际六有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Koide Y, Teranishi M, Sugiura S, Uchida Y, Nishio N, Kato K, Otake H, Yoshida T, Otsuka R, Ando	14
F, Shimokata H, Hasegawa Y, Nakashima T, Sone M.	
1, Similorata II, Hasegawa I, Nakasimila I, Solie W. 2 . 論文標題	F
	5.発行年
Association between Uncoupling Protein 2 Gene Ala55val Polymorphism and Sudden Sensorineural	2018年
Hearing Loss	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Journal of International Advanced Otology	166~169
the Journal of International Advanced Otorogy	100 - 109
	* + 0 + 47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5152/iao.2018.5442	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーランテクと人ではない。 人はカーランテクとスカ 四架	
1.著者名	4 . 巻
1 . 著者名 Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi	4.巻 46
	_
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi	46
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi 2.論文標題	5 . 発行年
Uchida Yasue, Sugiura Saiko, Nishita Yukiko, Saji Naoki, Sone Michihiko, Ueda Hiromi	46
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two	46 5.発行年 2019年
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi 2.論文標題	5 . 発行年
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名	46 5.発行年 2019年
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2.論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3.雑誌名 Auris Nasus Larynx	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2.論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3.雑誌名 Auris Nasus Larynx	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2. 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3. 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2.論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3.雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2.論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3.雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2018年
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers  3 . 雑誌名	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2018年
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers  3 . 雑誌名	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers  3 . 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 なし
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers  3 . 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 なし
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers  3 . 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 なし
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers  3 . 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 なし 査読の有無
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline ? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers  3 . 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 なし
Uchida Yasue、Sugiura Saiko、Nishita Yukiko、Saji Naoki、Sone Michihiko、Ueda Hiromi  2 . 論文標題 Age-related hearing loss and cognitive decline? The potential mechanisms linking the two  3 . 雑誌名 Auris Nasus Larynx  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anl.2018.08.010  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Yasue、Nishita Yukiko、Kato Takashi、Iwata Kaori、Sugiura Saiko、Suzuki Hirokazu、Sone Michihiko、Tange Chikako、Otsuka Rei、Ando Fujiko、Shimokata Hiroshi、Nakamura Akinori  2 . 論文標題 Smaller Hippocampal Volume and Degraded Peripheral Hearing Among Japanese Community Dwellers  3 . 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1~9 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 なし 査読の有無

Difference in Serum Levels of Vitamin D Between Canalolithiasis and Cupulolithiasis of the	2019年
Horizontal Semicircular Canal in Benign Paroxysmal Positional Vertigo	1 20.0
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Neurology	なし
. Toutions in lieurorogy	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fneur.2019.00176	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英名	1 A #
1.著者名	4.巻
Ogawa Takaki, Uchida Yasue, Nishita Yukiko, Tange Chikako, Sugiura Saiko, Ueda Hiromi, Nakada Takafumi, Suzuki Hirokazu, Otsuka Rei, Ando Fujiko, Shimokata Hiroshi	83
- TAKATUMI, SUZUKI HITOKAZU, Otsuka ket, Ando Fujiko, Shimokata Hitoshi - 2 . 論文標題	5 . 発行年
Learing-impaired elderly people have smaller social networks: A population-based aging study	2019年
hearing imparted elderly people have smaller social helmoths. A population-based aging study	2010—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Archives of Gerontology and Geriatrics	75 ~ 80
<b>∵</b>	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.archger.2019.03.004	有
ナープンマクセス	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
1. 著者名	4 . 巻
内田 育恵	76巻増刊7
LIM BY	1084131
	F 翠仁左
2 . 論文標題	5 . 発行年
2 . 論文標題 【 老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向- 】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における	5 . 無行中 2018年
·····	
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における	
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合	2018年
【 老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)	2018年 6 . 最初と最後の頁 207~211
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 207~211 査読の有無
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)	2018年 6 . 最初と最後の頁 207~211
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 207~211 査読の有無 無
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合  3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 207~211 査読の有無
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 207~211 査読の有無 無
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合  3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合  3 . 雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名	2018年 6.最初と最後の頁 207~211 査読の有無 無
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合  3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合  3 . 雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合  3 . 雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 内田 育恵,杉浦 彩子,鈴木 宏和,植田 広海,曾根 三千彦,中島 務  2.論文標題 一般地域住民を対象とした難聴発生を予測する因子の縦断的検討	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 120  5.発行年 2017年
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 内田 育恵, 杉浦 彩子, 鈴木 宏和, 植田 広海, 曽根 三千彦, 中島 務  2.論文標題 一般地域住民を対象とした難聴発生を予測する因子の縦断的検討 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 120  5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 内田 育恵,杉浦 彩子,鈴木 宏和,植田 広海,曾根 三千彦,中島 務  2.論文標題 一般地域住民を対象とした難聴発生を予測する因子の縦断的検討	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 120  5.発行年 2017年
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における補聴器適合 3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 内田 育恵, 杉浦 彩子, 鈴木 宏和, 植田 広海, 曽根 三千彦, 中島 務  2.論文標題 一般地域住民を対象とした難聴発生を予測する因子の縦断的検討 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 120  5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における補聴器適合  3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 内田 育恵, 杉浦 彩子, 鈴木 宏和, 植田 広海, 曾根 三千彦, 中島 務  2.論文標題 一般地域住民を対象とした難聴発生を予測する因子の縦断的検討  3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 120 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 923-931
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合  3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 内田 育恵, 杉浦 彩子, 鈴木 宏和, 植田 広海, 曾根 三千彦, 中島 務  2.論文標題 一般地域住民を対象とした難聴発生を予測する因子の縦断的検討  3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年  6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 120 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 923-931  査読の有無
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における補聴器適合  3.雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 内田 育恵, 杉浦 彩子, 鈴木 宏和, 植田 広海, 曽根 三千彦, 中島 務  2.論文標題 一般地域住民を対象とした難聴発生を予測する因子の縦断的検討  3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報	2018年 6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 120 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 923-931
【老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の臓器別疾患 耳鼻咽喉疾患 高齢者難聴における 補聴器適合  3 . 雑誌名 日本臨床 老年医学(下)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 内田 育恵, 杉浦 彩子, 鈴木 宏和, 植田 広海, 曾根 三千彦, 中島 務  2 . 論文標題 一般地域住民を対象とした難聴発生を予測する因子の縦断的検討  3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年  6.最初と最後の頁 207~211  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 120 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 923-931  査読の有無

***	T
1.著者名	4 . 巻
内田 育恵, 杉浦 彩子	60
2.論文標題	5.発行年
加齢と補聴器が社会交流における補聴器の役割	2017年
川町 C 開物品 社女犬がにのける神物品の12百	2017+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Audiology Japan	477 - 483
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
https://doi.org/10.4295/audiology.60.477	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
1. 著者名	4 . 巻
内田・育恵	211
	211
2 . 論文標題	5 . 発行年
老人性難聴の関連遺伝子	2017年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ENTONI	50-55
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
内田 育惠	75
2	r 契约二年
2.論文標題	5 . 発行年
【難聴と耳鳴の最新情報】 難聴と認知症	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
医学と薬学	207-211
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の方無
掲載論又のDOI(テンタルオフシェクト識別子) なし	査読の有無   無
40	<del></del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
内田 育惠	34
2.論文標題	5.発行年
2. ゅくほと 【耳鼻咽喉科医に必要な認知症の知識-認知症と高次脳機能障害】 認知症と聴覚 難聴と認知症	2018年
▶→→□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	2010-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
JOHNS	329-333
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>   査読の有無
·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーフラナンと人にはない。 メはカーフラナンド人から手	

1 . 著者名 伊藤 恵里奈、杉浦 彩子、内田 育恵、吉原 杏奈、清水 笑子、近藤 和泉、中島 務	
	4 . 巻
尸脉 心主求、12届 杉1、13五 有心、白水 白水、角外 关1、过脉 作水、千亩 13	61
2.論文標題	5.発行年
高齢難聴者のハンディキャップの自覚についての検討	2018年
同級発売ではのパンティイドグラの自見についての行為に	20104
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
AUDIOLOGY JAPAN	57 ~ 64
AUDIOLOGI SALAN	37 04
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
https://doi.org/10.4295/audiology.61.57	有
111 tps.//doi.org/10.4233/add1010gy.01.3/	) F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
is John Colonia (day, cost)	
1.著者名	4 . 巻
Uchida Y, Nishita Y, Tange C, Sugiura S, Otsuka R, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H	8
Contract, Michiela I, Tange C, Cagrara C, Cicara N, Ceda II, Maracillila I, Aliuc F, Cillillorata II	
2 . 論文標題	5.発行年
The longitudinal impact of hearing impairment on cognition differs according to cognitive	2016年
	2010-
domain	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Aging Neurosci	article 201
Train rights hourson	artiole 201
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fnagi.2016.00201	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
a JJJJ CACOCKIO (AR. COSTR COO)	_
1.著者名	4 . 巻
内田育恵	42
13 P P P P	·=
	1
0	= 3×./- (-
·····	5 . 発行年
·····	
2.論文標題 特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴	5 . 発行年 2016年
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴	2016年
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴	
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴 3.雑誌名	2016年
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴	2016年 6.最初と最後の頁
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴 3.雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名  Medical Science Digest	2016年 6 . 最初と最後の頁 178-181
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名  Medical Science Digest	2016年 6.最初と最後の頁
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2016年 6.最初と最後の頁 178-181 査読の有無
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名  Medical Science Digest	2016年 6 . 最初と最後の頁 178-181
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2016年 6.最初と最後の頁 178-181 査読の有無 無
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2016年 6.最初と最後の頁 178-181 査読の有無
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2016年 6.最初と最後の頁 178-181 査読の有無 無
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	2016年 6.最初と最後の頁 178-181 査読の有無 無
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年 6.最初と最後の頁 178-181 査読の有無 無
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名         Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴  3. 雑誌名 Medical Science Digest  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名 Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         2 . 論文標題 認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2016年
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名 Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         2 . 論文標題 認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名         Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         をおける看護師による外耳道ケアの試み         3 . 雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2016年
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3 . 雑誌名         Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         をおける看護師による外耳道ケアの試み         3 . 雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3. 雑誌名         Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名         杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         2. 論文標題         認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み         3. 雑誌名         日本老年医学会雑誌	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53  5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 164-167
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3. 雑誌名         Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名         杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         2. 論文標題         認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み         3. 雑誌名         日本老年医学会雑誌	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53  5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 164-167
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3. 雑誌名         Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名         杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         2. 論文標題         認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み         3. 雑誌名         日本老年医学会雑誌         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 164-167
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3. 雑誌名         Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名         杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         2. 論文標題         認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み         3. 雑誌名         日本老年医学会雑誌	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53  5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 164-167
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3. 雑誌名         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名         杉浦 彩子,竹内 さやか,久田 真未,住垣 千恵子,内田 育恵,中島 務,鳥羽 研二         2. 論文標題認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み         3. 雑誌名         日本老年医学会雑誌         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 164-167
3.雑誌名         Medical Science Digest         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名         杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         2.論文標題         認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み         3.雑誌名         日本老年医学会雑誌         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53  5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 164-167  査読の有無 有
特集「聴覚障害」 5. 老化と難聴         3. 雑誌名         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名         杉浦 彩子, 竹内 さやか, 久田 真未, 住垣 千恵子, 内田 育恵, 中島 務, 鳥羽 研二         2. 論文標題         認知症病棟における看護師による外耳道ケアの試み         3. 雑誌名         日本老年医学会雑誌         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	2016年 6.最初と最後の頁 178-181  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 164-167

4 . 巻 26 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 155-160
5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 155-160
2016年 6 . 最初と最後の頁 155-160
2016年 6 . 最初と最後の頁 155-160
155-160
155-160
査読の有無
<u> </u>
無
国際共著
<b>-</b>
4 . 巻
16
5 . 発行年
2016年
6.最初と最後の頁
392-395
査読の有無
重硫の行無   有
国際共著
-
4.巻
12
5.発行年
2015年
-
6.最初と最後の頁
1006-1011
査読の有無
有
国際共著
-
4.巻
53
5.発行年
2015年
•
6.最初と最後の頁
•
313-318
313-318
313-318 査読の有無
査読の有無

1.著者名 内田育恵	4 <del>**</del>
内田自思	4.巻
	56
	F 38/-/T
2 . 論文標題	5.発行年
高齢期難聴がもたらす影響と期待される介入の可能性	2015年
a that or	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
音声言語医学	143-147
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
http://doi.org/10.5112/jjlp.56.143	無
オープンアクセス	<b>原放 共 苯</b>
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
1	4 . 巻
1 . 著者名	_
内田育恵	188
2 岭中區	F 整体
2. 論文標題	5.発行年
高齢者の聴覚異常感	2016年
つ 地社々	( 早知と早悠の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
MB ENT	60-65
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	<u>」</u>   査読の有無
19年16冊文の1001(アンタルオングエグト・成の1)) なし	無無
A U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六省
カープラックとかくはない、人はカープラックと大力四衆	
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Uchida Y, Sugiura S, Sone M, Ueda H, Nakashima T.	Epub 2014
2.論文標題	5.発行年
Progress and Prospects in Human Genetic Research into Age-Related Hearing Impairment.	2014年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
BioMed Research International	Jul 22
Blower Research International	Jul 22
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	
10.1155/2014/390601	有
10.1103/2014/000001	
	国際共著
オープンアクセス	国際共著
	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.	- 4 . 巻 11
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題	- 4.巻 11 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory	- 4 . 巻 11
オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population	- 4.巻 11 5.発行年 2014年
オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2014年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2014年
オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2014年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population  3 . 雑誌名 Immun Ageing	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2014年 6 . 最初と最後の頁 18
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population  3 . 雑誌名 Immun Ageing	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2014年 6 . 最初と最後の頁 18 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population  3 . 雑誌名 Immun Ageing	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2014年 6 . 最初と最後の頁 18
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uchida Y, Sugiura S, Ueda H, Nakashima T, Ando F, Shimokata H.  2 . 論文標題 The association between hearing impairment and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population  3 . 雑誌名 Immun Ageing	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2014年 6 . 最初と最後の頁 18 査読の有無

Suginoto S, Fukunaya Y, Katayama N, Yoshida T, Teranishi M, Sugiura S, Uchida Y, Kaniya H, Oiso Y, Nakashima T.         4         ***		
ア、Nakashina T.	1.著者名	4 . 巻
マ、Nekashima T. 2	Sugimoto S. Fukunaga Y. Katayama N. Yoshida T. Teranishi M. Sugiura S. Uchida Y. Kamiya H. Oiso	4
2 . 論文標題 Factors Contributing to Postural Sway in Patients with Diabetes in an In-Hospital Education Program. 3 . 州誌名 Audiol Neurotol Extra  第載論文のDDI (デジタルオブジェクト機例子) 10.3109/00016489,2013.803599  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 内田育恵・杉浦彩子、安江穂・植田広海・中島務 2 . 論文機題 構成的口質・ジタルオブジェクト機例子) ない オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著名名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.  2 . 論文機題 任任語は Syapia Syapia Selfer Solf Effect of Cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with Cognitive Impairment. 3 . 解誌名 Seriatr Gerontol Int  第載論文のDDI (デジタルオプジェクト機例子) 2 . 論文機題 任任語は Geriatr Gerontol Int  第載論文のDDI (デジタルオプジェクト機例子) 10.1111/ggi,12251  第 表名 Seriatr Gerontol Int  第 表名 Seriatr Gerontol Int  1 . 著名名 Seriatr Gerontol Int  2 . 論文機題 相応部外来受診高年數者における語音能力検査結果の検討  3 . 解誌名 会工徒・杉浦彩子 , 内田育恵 , 中島務  4 . 卷 117  2 . 論文機理 補限器外来受診高年數者における語音能力検査結果の検討  3 . 解誌名 日本写真明吸科学会会報  6 . 最初と直接の頁 1080-1086		
Factors Contributing to Postural Sway in Patients with Diabetes in an In-Hospital Education Program.  3. 雑誌名 Audiol Neurotol Extra  6. 最初と最後の頁 23-31    西藤藤文のDOI (デジタルオブジェクト観別子)		F 36/-/-
Program.		
Program.	Factors Contributing to Postural Sway in Patients with Diabetes in an In-Hospital Education	2014年
3. 熱味名 Audiol Neurotol Extra       6 . 最初と最後の頁 23-31         #報酬公のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3109/00016489.2013.803599       重議の有無 有         オープンアクセス       国際共著         1 . 著名名 内田貞恵、杉浦彩子、安江穂,相田広海、中島務       4 . 巻 57         2 . 論な標題 補精部外来受診者の語音明瞭度 他年齢群と比較した超高齢群の特徴       5 . 発行年 2014年         3 . 納試名 Audiology Japan       6 . 最初と高後の頁 195-201         月報論文の01 (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 有         オープンアクセス       国際共著         1 . 著名名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sunigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.       4 . 巻 Supi 2         2 . 論及搭題 目析主に impairment. Geriatr Gerontol Int       5 . 発行年 2014年         3 . 納試名 タフルオプジェクト認別子) 10.1111/ggi.12251       重読の有無 有         4 . 巻 実力シアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       6 . 最初と高後の頁 5 . 発行年 2014年         2 . 論交格題 イープンアクセス タフルオプシェクトはのは、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻 2014年         2 . 論交格 東海協文のOI (デジタルオプシェクト超別子) 2 . 論文様 第一年の日恵、中島務       4 . 巻 2014年         2 . 論文名 		
超数論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3109/00016489.2013.803599		6 見知し見後の百
有	Audiol Neurotol Extra	23-31
1.3109/00016489.2013.803599   有		
有		
有	退載絵文のDOI(デジタルオブジェクト辨別子)	本語の右無
オープンアクセス		_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	10.3109/00016489.2013.803599	1
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
1 . 著者名 内田育康、杉浦彩子、安江穂 , 植田広海、中島務 2 . 論文標題 補暖部外来受診者の語音明瞭度 他年齢群と比較した超高齢群の特徴 3 . 雑誌名 Audiology Japan  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sugiura S、Yasue M、Sakurai T、Sumigaki C、Uchida Y、Nakashima T、Toba K.  2 . 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment. 3 . 雑誌名 Geriatr Gerontol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 内田育康、杉浦彩子、安江穂,植田広海、中島務 2 . 論文標題 補聴器分来受診者の語音明瞭度 他年齢群と比較した超高齢群の特徴 3 . 雑誌名 Audiology Japan 名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
内田育恵、杉浦彩子、安江穂、植田広海、中島務       57         2 . 論文標題 補機器が未受診者の語音明瞭度 他年齢群と比較した超高齢群の特徴       5 . 発行年 2014年         3. 練誌名 Audiology Japan       6 . 最初と最後の頁 195-201         B載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 有         オープンアクセス ***ファクセスとしている(また、その予定である)       国際共著         1 . 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.       4 . 巻 Suppl 2         2 . 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.       5 . 発行年 2014年         3 . 練試器 Geriatr Gerontol Int       6 . 最初と最後の頁 56-61         4 . 巻 女江穂, 杉浦彩子,内田育恵、中島務       4 . 巻 117         2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       4 . 巻 117         2 . 論文標題 補職器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5 . 発行年 2014年         3 . 雜誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6 . 最初と最後の頁 1080-1086		
内田育恵、杉浦彩子、安江穂、植田広海、中島務       57         2 . 論文標題 補聴器外来受診者の語音明瞭度 他年齢群と比較した超高齢群の特徴       5 . 発行年 2014年         3 . 維誌名 Audiology Japan       6 . 最初と最後の頁 195-201         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       宣読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.       4 . 巻 Suppl 2         2 . 論文標題 Elflect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.       5 . 発行年 2014年         3 . 林誌名 Geriatr Gerontol Int       6 . 最初と最後の頁 56-61         4 . 巻 安江穂、杉浦彩子、内田育恵、中島務       4 . 巻 117         1 . 著者名 安江穂、杉浦彩子、内田育恵、中島務       4 . 巻 117         2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5 . 発行年 2014年         3 . 触誌名 旧様題 和東和曜科学会会報       6 . 最初と最後の頁 1080-1086	1 苯老夕	<b>1</b>
2. 論文標題		_
福聴器外来受診者の語音明瞭度 他年齢群と比較した超高齢群の特徴 2014年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 195-201 富読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K. 2 . 論文標題 5 . 発行年 2014年 2014年 3 . 雑誌名 (Griatr Gerontol Int First Form (First Form) 1 . 第 音名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務 4 . 巻 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務 1 . 第 3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報 6 . 最初と最後の頁 1080-1086 1 . 第 3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報 6 . 最初と最後の頁 1080-1086 1 . 第 3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報 6 . 最初と最後の頁 1080-1086 1 . 第 3 . 2014年 2014年 2014年 2014年 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3	内田育惠,杉浦彩子,安江穂,植田広海,中島務	57
福聴器外来受診者の語音明瞭度 他年齢群と比較した超高齢群の特徴 2014年  3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 195-201  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
福聴器外来受診者の語音明瞭度 他年齢群と比較した超高齢群の特徴 2014年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 195-201 富読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K. 2 . 論文標題 5 . 発行年 2014年 2014年 3 . 雑誌名 (Griatr Gerontol Int First Form (First Form) 1 . 第 音名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務 4 . 巻 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務 1 . 第 3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報 6 . 最初と最後の頁 1080-1086 1 . 第 3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報 6 . 最初と最後の頁 1080-1086 1 . 第 3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報 6 . 最初と最後の頁 1080-1086 1 . 第 3 . 2014年 2014年 2014年 2014年 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3	2 論文標題	5 発行年
3 . 雑誌名 Audiology Japan 6 . 最初と最後の頁 195-201		
Audiology Japan	<b>伸</b> に密外米 文 診 者 の 語 首 明 瞭 技	2014年
Audiology Japan 195-201 195-		
Audiology Japan	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
電戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オーブンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である) コ際共著 - 1・著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K. Suppl 2 5. 発行年 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment. 6. 最初と最後の頁 56-61 6. 最初と最後の頁 56-61 7. 第111/9gi.12251 7. 第12251 7. 第1225		
### おープンアクセス	Additional Superior	100-201
### おープンアクセス	l l	
### ### ### ### #####################		<u> </u>
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.  2 . 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.  3 . 雑誌名 Geriatr Gerontol Int  超載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務  1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務  2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討  3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報  4 . 巻 117  6 . 最初と最後の頁 1080-1086	掲載論文のDOI(テシタルオフシェクト識別子)	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1. 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.       4.巻 Suppl 2         2. 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.       5.発行年 2014年         3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int       6.最初と最後の頁 56-61         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251       重読の有無 有         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1<著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務         2. 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       4.巻 117         3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       5.発行年 2014年         3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6.最初と最後の頁 1080-1086	なし	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.  2 . 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.  3 . 雑誌名 Geriatr Gerontol Int  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251  第 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務  1 . 養者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務  2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討  5 . 発行年 2014年  3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報  6 . 最初と最後の頁 1080-1086		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1. 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.       4.巻 Suppl 2         2. 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.       5.発行年 2014年         3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int       6.最初と最後の頁 56-61         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251       重読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 117         1. 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務       4.巻 117         2. 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5.発行年 2014年         3. 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6.最初と最後の頁 1080-1086	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.  2 . 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.  3 . 雑誌名 Geriatr Gerontol Int  超戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務  4 . 巻 117  2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討  5 . 発行年 2014年  3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報  6 . 最初と最後の頁 1080-1086		日が八日
Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.Suppl 22.論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.5.発行年 2014年3.雑誌名 Geriatr Gerontol Int6.最初と最後の頁 56-61掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251査読の有無 有オープンアクセス タンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 方1.著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務4.巻 1172.論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討5.発行年 2014年3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報6.最初と最後の頁 1080-1086	オープンテクセスとしている(また、その)をこのる)	<u> </u>
Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.Suppl 22. 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.5.発行年 2014年3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int6.最初と最後の頁 56-61掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251査読の有無 有オープンアクセス国際共著 方オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5.発行年 2014年2. 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討 5.発行年 2014年3. 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報 6. 最初と最後の頁 1080-1086		
Sugiura S, Yasue M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, Toba K.Suppl 22. 論文標題 Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.5.発行年 2014年3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int6.最初と最後の頁 56-61掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251査読の有無 有オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -国際共著 方1. 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務4.巻 1172. 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討5.発行年 2014年3. 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報6.最初と最後の頁 1080-1086	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題       5 . 発行年         Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.       2014年         3 . 雑誌名 Geriatr Gerontol Int       6 . 最初と最後の頁 56-61         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251       査読の有無 有         オープンアクセス	Sugjura S. Vasue M. Sakuraj T. Sumigaki C. Hohida V. Nakashima T. Toha K	Sunn I 2
Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.       2014年         3 . 雜誌名 Geriatr Gerontol Int       6 . 最初と最後の頁 56-61         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251       査読の有無 有         オープンアクセス コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務       4 . 巻 117         2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5 . 発行年 2014年         3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6 . 最初と最後の頁 1080-1086	Sugrata S, Tasue M, Sakurar F, Sumrgaki S, Sorrida F, Nakasirima F, Toba K.	00pp1 2
Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with cognitive impairment.  3 . 雑誌名 Geriatr Gerontol Int	A \ 1707	_ 70 /
cognitive impairment.       6.最初と最後の頁         3.雑誌名       6.最初と最後の頁         信載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1111/ggi.12251       有         オープンアクセス       国際共著         ・       1.著者名         安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務       4.巻         2.論文標題       5.発行年         補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5.発行年         3.雑誌名       6.最初と最後の頁         日本耳鼻咽喉科学会会報       1080-1086	2.論又標題	5.発行年
cognitive impairment.       6.最初と最後の頁         3.雑誌名       6.最初と最後の頁         Geriatr Gerontol Int       査読の有無         10.1111/ggi.12251       有         オープンアクセス       国際共著         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1.著者名       4.巻         安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務       5.発行年         2.論文標題       5.発行年         補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5.最初と最後の頁         1.雑誌名       6.最初と最後の頁         日本耳鼻咽喉科学会会報       1080-1086	Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive functions in Japanese older adults with	2014年
3 . 雑誌名 Geriatr Gerontol Int       6 . 最初と最後の頁 56-61         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.12251       査読の有無         オープンアクセス       国際共著         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務       4 . 巻 117         2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5 . 発行年 2014年         3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6 . 最初と最後の頁 1080-1086	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	-
Geriatr Gerontol Int     56-61       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)     査読の有無       オープンアクセス     国際共著       オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     -       1 . 著者名     安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務     4 . 巻       1 . 議者名     安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務     5 . 発行年       2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討     5 . 発行年       2 . 論文標題 有     本語文標題 相聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討     5 . 発行年       3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報     6 . 最初と最後の頁 1080-1086		6 早切レ単後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
10.1111/ggi.12251 有	Geriatr Gerontol Int	56-61
10.1111/ggi.12251 有	l l	
10.1111/ggi.12251 有		
10.1111/ggi.12251 有	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務     4 . 巻 117       2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討     5 . 発行年 2014年       3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報     6 . 最初と最後の頁 1080-1086		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務       4 . 巻 117         2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5 . 発行年 2014年         3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6 . 最初と最後の頁 1080-1086	10.1111/991.12201	H
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務       4 . 巻 117         2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5 . 発行年 2014年         3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6 . 最初と最後の頁 1080-1086	+ - 1\17/147	
1 . 著者名 安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務       4 . 巻 117         2 . 論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5 . 発行年 2014年         3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6 . 最初と最後の頁 1080-1086		国际共者
安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務1172.論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討5.発行年 2014年3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報6.最初と最後の頁 1080-1086	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務1172.論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討5.発行年 2014年3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報6.最初と最後の頁 1080-1086		
安江穂,杉浦彩子,内田育恵,中島務1172.論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討5.発行年 2014年3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報6.最初と最後の頁 1080-1086	1 著名名	4 . 巻
2.論文標題 補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討       5.発行年 2014年         3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報       6.最初と最後の頁 1080-1086		
補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討2014年3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報6.最初と最後の頁 1080-1086	头儿 <sup>他</sup> ,12/用秒丁, <b>内</b> 四月芯, <b>叶</b> 茵防	117
補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討2014年3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報6.最初と最後の頁 1080-1086		
補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討2014年3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報6.最初と最後の頁 1080-1086	2.論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報 6 . 最初と最後の頁 1080-1086	補聴器外来受診高年齢者における語音聴力検査結果の検討	
日本耳鼻咽喉科学会会報 1080-1086	THE BORNEY COLORES CO. I. BY D. LOOS IV. ON HE D. HOVE IN THE PROPERTY OF THE	=*** 1
日本耳鼻咽喉科学会会報 1080-1086	2 抽生交	6 単知と単後の五
	日本耳鼻咽喉科学会会報	1080-1086
	l l	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	4U	<b>月</b>
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>

1.著者名	4.巻
内田育恵	30
131 826	
2 . 論文標題	5.発行年
特集:よくわかる遺伝子4.体質と疾患 1)老人性難聴・突発性難聴	2014年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
JOHNS	770-774
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
4 \$2.0	1 <del>2</del> 2
1 . 著者名	4.巻
植田広海,内田育恵,岸本真由子,土屋吉正	30
2 . 論文標題	5.発行年
【こんなときどうする】 耳科学・聴覚領域 アブミ骨が見つからない!	2014年
1. こんらこことファシオ 4117寸 MDが223人 フノヘ日が元フがひはV!:	2017T
2 145+47	- 日知し日後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
JOHNS	1129-1131
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1 . 著者名	4.巻
	_
杉浦彩子,内田育恵,中島務	170
2.論文標題	5.発行年
高齢者のフレイル(虚弱)とリハビリテーション 難聴に対するリハビリテーション	2014年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** * *	
Medical Rehabilitation	104-110
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
e	,
オープンアクセス	国際共著
	<b>国际六</b> 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
〔学会発表〕 計45件(うち招待講演 28件/うち国際学会 5件)	
1 . 発表者名	
,元祝音 G 内田育恵,土屋吉正,岸本真由子,車哲成,谷川徹,小川徹也,植田広海	
23四月芯,工度口近,序平县四丁,毕首成,位川俶,小川俶也,恒四亿度	
2 . 発表標題	
当科における聴覚による身体障害者手帳所持者の追跡調査	
ココーピップ 夕極光にの 22 19年日日丁18月11日以上9月11日	
3 . 学会等名	
第173回東海地方部会連合講演会	

4 . 発表年 2018年

1.発表者名 内田育恵, 杉浦彩子,鈴木宏和,中田隆文,中島務,植田広海
2.発表標題
もの忘れセンター受診高齢難聴者の語音弁別能とMini-Mental State Examination(MMSE)の関係
3.学会等名
第28回日本耳科学会総会・学術講演会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
7 . 光极自石 内田育惠, 杉浦彩子,中田隆文,伊藤惠里奈,吉原杏奈,清水笑子,近藤和泉,中島務,植田広海
2.発表標題
もの忘れセンター受診高齢難聴者への補聴器6ヶ月貸出研究 - 語音弁別能に注目した解析 -
3 . 学会等名
第63回日本聴覚医学会総会・学術講演会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名
清水笑子,伊藤惠里奈,杉浦彩子,内田育惠,中田隆文,吉原杏奈 , 近藤和泉
2 . 発表標題
補聴器外来受診高齢者におけるフレイルの実態
3.学会等名
第63回日本聴覚医学会総会・学術講演会 第63回日本聴覚医学会総会・学術講演会
4.発表年 2018年
1.発表者名 小川高生,内田育恵,杉浦彩子,植田広海
2 . 発表標題 地域住民における高次生活機能と聴力の関連
3.学会等名
第63回日本聴覚医学会総会・学術講演会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名
内田育恵
2.発表標題
聴覚の低下と認知症 - 相互関連のメカニズム
第18回日本抗加齢医学会総会 感覚器シンポジウム '感覚器の障害か認知症の初期か '(招待講演)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
内田育恵
2. 発表標題
中年期以降の'Hear well'の重要性
第119回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会パネルディスカッション「超高齢社会における高齢者医療への対応 」 ( 招待講演 )
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
内田育惠
2.発表標題
中年期以降の"Hear Well" -くらしと聞こえの関係-
3. 学会等名
オーティコン国際シンポジウム 2018(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
20104
1.発表者名 内田育恵
以田司巡
2.発表標題 難聴と認知機能
숙표하는 마반스타기자 원인
3.学会等名 □ 日島土に広地で加入が行うは時界日地に次々百年のための共和へ(77年建定)
日耳鼻大阪府地方部会が行う補聴器相談医資格更新のための講習会(招待講演)
4 . 発表年 2018年
2010—

1.発表者名 内田育恵	
2 . 発表標題 高齢期難聴の影響 - バランス機能や認知機能	
3.学会等名 尾勢耳鼻咽喉科講演会(招待講演)	
4 . 発表年 2018年	
1.発表者名 内田育恵	
2 . 発表標題 ことばを聴きとる科学	
3 . 学会等名 第175回東海地方部会連合講演会 領域講習(招待講演)	
4.発表年 2018年	
1.発表者名 内田育恵	
2.発表標題	
なぜ、補聴器で認知症を予防できる、とは言えないのか	
3 . 学会等名 第8回 シグニア補聴器 最先端聴覚セミナー(招待講演)	
4 . 発表年 2019年	
1.発表者名	
内田育恵,杉浦彩子,鈴木宏和,植田広海,曾根三千彦	
2 . 発表標題 中高年期の脳容積と聴力の関係:voxel-based morphometryによる検討	
3 . 学会等名 第118回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	
4.発表年 2017年	

1.発表者名 内田育恵,杉浦彩子,伊藤恵里奈,吉原杏奈,清水笑子,近藤和泉,中島務,植田広海
2.発表標題 もの忘れセンター受診高齢難聴者への補聴器6ヶ月貸出研究 - MMSEの推移 -
3.学会等名 第62回日本聴覚医学会総会・学術講演会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 伊藤恵里奈,杉浦彩子,内田育恵,吉原杏奈,清水笑子,近藤和泉,中島務
2.発表標題 もの忘れセンター受診高齢難聴者への補聴器6ヶ月貸出研究 ケース分析
3 . 学会等名   第62回日本聴覚医学会総会・学術講演会 
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 内田育恵
2.発表標題 補聴器と認知症
3.学会等名 第27回 日本耳科学会総会・学術講演会ランチョンセミナー(招待講演)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Yasue Uchida; Yukiko Nishita; Takashi Kato; Kaori Iwata; Saiko Sugiura; irokazu Suzuki; Michihiko Sone; Chikako Tange; Rei Otsuka; Fujiko Ando; Hiroshi Shimokata; Akinori Nakamura
2.発表標題 A link between hearing ability and brain volume in a middle-aged and elderly Japanese population revealed by voxel-based morphometry
3.学会等名 International Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies (IFOS)Paris(国際学会)

4 . 発表年 2017年

1.発表者名 内田育恵,岸本真由子,杉浦彩子,鈴木宏和,中島務,植田広海
2 . 発表標題 高齢者の耳鳴に対する補聴器の効果
3.学会等名 第16回日本抗加齢医学会総会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 内田育恵,杉浦彩子,鈴木宏和,植田広海,中島 務
2.発表標題 一般地域住民を対象とした難聴発症を予測する因子の縦断的検討
3 . 学会等名 第117回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 伊藤恵里奈,杉浦彩子,内田育恵,中島務
2.発表標題 高齢難聴者のハンディキャップの自覚についての検討
3.学会等名 第61回日本聴覚医学会総会・学術講演会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 杉浦彩子,伊藤恵里奈,中島務,内田育恵
2 . 発表標題 耳鳴を主訴に夜間救急を受診した重度耳鳴の3症例
3 . 学会等名 第61回日本聴覚医学会総会・学術講演会
4 . 発表年 2016年

1.発表者名
内田育恵
2.発表標題
健康長寿時代に期待される補聴器の新たな役割
3.学会等名
第16回日本抗加齢医学会総会 ランチョンセミナー(招待講演)
4.発表年 2016年
「1.発表者名」 内田育恵
2.発表標題 聴力と認知機能 - 補聴器の役割
3.学会等名 第17回補聴器適合研修会(招待講演)
4.発表年
2016年
1.発表者名
内田育恵
2.発表標題
高齢者の難聴と認知機能 - 補聴器の役割
3.学会等名
東京都地方部会 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医更新のための講習会(招待講演)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 内田育恵
2 76 主 4年日本
2.発表標題 高齢難聴者の実態と補聴
3.学会等名
3.字云寺石 第4回認定言語聴覚士講習会(招待講演)
2016年

1.発表者名 内田育恵
r3叫日 <i>心</i> S
2.発表標題
聴力と認知機能・脳容積の関係 日本の地域住民対象研究より
2. HA##
3 . 学会等名 The International Symposium on Hearing Loss and Dementia/Depression(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2017年
1.発表者名
内田育恵
2.発表標題
市民セミナー:えっ?こんなにも重要だった「聞こえ」のこと ~わたしたちのくらしと「聞こえ」の関係~
3 . 学会等名 中日新聞社主催「悠々自適倶楽部」セミナー(招待講演)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
内田育恵,岸本真由子,杉浦彩子,中島 務,植田広海
2. 改革 播店
2 . 発表標題 聴覚の身体障害者に関する補聴器交付後調査
3.学会等名
第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
4 . 発表年
2015年
1.発表者名
Yasue Uchida
2. 発表標題
Food consumption and hearing impairment in aged population
3.学会等名
3. 子云守石 The 30th Politzer Society Meeting , July 1, 2015 Niigata (招待講演) (国際学会)
4.発表年 2015年
<del></del> ,

1 ジャネク
1.発表者名 Yasue Uchida
Tabue voltua
2 . 発表標題
Cognitive function and hearing in the elderly.
3 . 子도寺石   13th Japan-Taiwan Conference on Otolaryngology-Head and Neck Surgery(招待講演)(国際学会)
13th Japan-Tarwah Conference on Otoraryngorogy-head and Neck Surgery (担づ确保) (国际子云)
2015年
20.01
1.発表者名
カ田育恵
13480
2.発表標題
加齢性難聴のエイジングケア
第15回日本抗加齢医学会総会(招待講演)
□
4 · 元农中
20134
1.発表者名
13430
2 . 発表標題
高齢期難聴の社会経済的影響を考える
3 . 子云寺台   愛知県耳鼻咽喉科医会 名古屋地区研修会「名耳会臨床医のつどい」
友州木井テャロットメイイでス ロロ圧心のWIPス ロチス咖/M区WフCVI] 
4.発表年
1.発表者名
, <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>
2. 発表標題
疫学的視点 近年の高齢者の難聴、認知機能、社会的孤立などの現況
3.字云寺石   第25回日本耳科学会 ミニシンポジウム「高齢化社会における耳科学update」(招待講演)
カムショロサナバナス ベーノノかノフム 同欧心社太にのける中代チupuale」(拍付确供 <i>)</i> 
4 · 元农中

1.発表者名
内田育恵,岸本真由子,杉浦彩子,伊藤恵里奈,中島 務,植田広海
2.発表標題
高齢者の耳鳴対策として行う補聴器適合の経験
3.学会等名
第38回補聴研究会
4.発表年
2015年
1.発表者名
内田育惠
2.発表標題
加齢性難聴とその予防
3.学会等名
第17回日本健康支援学会(招待講演)
4.発表年
2016年
1 . 発表者名
内田育惠
2 . 発表標題
パネル討議 2 難聴と認知症
3.学会等名
睡眠と認知症ワークショップ(招待講演)
4 . 発表年
2015年
1.発表者名 内田育恵
で 小型 の の に に に に に に に に に に に に に
2.発表標題 高齢者の認知機能と難聴 補聴器適合の有用性と課題
同取有Viiii Niii Niii Niii Niii Niii Niii Nii
3.学会等名
南西多摩耳鼻咽喉科医会学術講演会(招待講演)
4.発表年 2014年

1.発表者名 内田育恵
2 . 発表標題 国内外の疫学研究による加齢性難聴 新知見
3 . 学会等名 第4回臓器連関研究シンポジウム(招待講演)
4 . 発表年 2014年
1.発表者名 内田育恵
2 . 発表標題 高齢期難聴がもたらす個人への不利益と社会的影響
3 . 学会等名 第25回日本老年医学会東海地方会 教育企画(招待講演)
4 . 発表年 2014年
1.発表者名 内田育恵
2 . 発表標題 高齢期難聴がもたらす影響と期待される介入の可能性
3 . 学会等名 第59回 日本音声言語医学会総会・学術講演会(招待講演)
4 . 発表年 2014年
1.発表者名 内田育恵
2 . 発表標題 知っておきたい。高齢者の認知機能と難聴の関係
3 . 学会等名 第59回岡山耳鼻咽喉科フォーラム(招待講演)
4.発表年 2015年

1.発表者名
内田育恵
2.発表標題
加齢に伴う聴覚障害への取り組み
2 HAMA
3 . 学会等名 一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 保険医療委員会ワークショップ(招待講演)
4.発表年
4 · 光农中
1 <u>&amp;</u> + * 4 7
1.発表者名 内田育恵
2 . 発表標題 遺伝子多型と加齢性難聴リスク
度 仏丁夕至C川郎 注無幅リスツ
3 . 学会等名
第2回先進感覚器研究コアセンター講演会(招待講演)
4.発表年
2015年
1.発表者名
内田育恵
2.発表標題
高齢者への対応 - 耳鳴り・難聴
3.学会等名
3 . 子云寺石   第 39 回愛知県耳鼻咽喉科研修会(合同研修会) 教育講演(招待講演)
4 . 発表年 2015年
4 V= 24
1.発表者名 内田育恵,岸本真由子,杉浦彩子,中島 務,植田広海
2.発表標題
聴覚の身体障害者に関する補聴器交付後調査 
第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
4 . 発表年
2015年

〔図書〕 計3件	
1.著者名 内田育恵,杉浦彩子	4 . 発行年 2016年
2. 出版社 全日本病院出版会	5 . 総ページ数 145 (p.58-64)
3.書名 睡眠からみた認知症診療ハンドブック - 早期診断と多角的治療アプローチ - 5.聴力低下と認知症	
1.著者名 内田育恵	4 . 発行年 2016年
2.出版社 診断と治療社	5 . 総ページ数 672 (p.611)
3.書名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート 改訂第2版 トピックス 1.老化とアンチエイジング 難聴	
1.著者名 内田育恵,杉浦彩子,植田広海	4 . 発行年 2014年
2.出版社中山書店	5.総ページ数 <sup>260-270</sup>
3.書名 《ENT臨床フロンティア》シリーズ『子どもを診る・高齢者を診る 耳鼻咽喉科外来診療マニュアル』	
〔産業財産権〕	

〔その他〕

# 6 . 研究組織

	· WIDENIAM		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	植田 広海	愛知医科大学・医学部・教授	
研究分担者	(Ueda Hiromi)		
	(20213358)	(33920)	

### 6.研究組織(つづき)

	・竹九組織(フノさ)		
	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	櫻井 孝	独立行政法人国立長寿医療研究センター・その他部局等・その他・経行と	
研究分担者	(Sakurai Takashi)	の他(移行)	
	(50335444)	(83903)	
	鳥羽 研二	独立行政法人国立長寿医療研究センター・その他部局等・そ	
研究分担者	(Toba Kenji)	の他	
	(60155546)	(83903)	
研究分担者	杉浦 彩子 (Sugiura Saiko)	独立行政法人国立長寿医療研究センター・その他部局等・その他	
	(90420380)	(83903)	